新　規

道路保全事業費（おもてなし山形周遊支援基盤整備事業）

1　事業概要

従来、「自動車と歩行者」の安全な通行に主眼を置いていた県管理道路を『自転車』も安全で快適に通行できる環境につくりかえる。このことにより、自転車を利用した県内周遊の基盤を整備し、観光振興や地域経済の発展につなげる。

2　事業内容

(1) 県外・海外から観光客を呼び込み、観光振興につなげるｻｲｸﾘﾝｸﾞ環境の整備

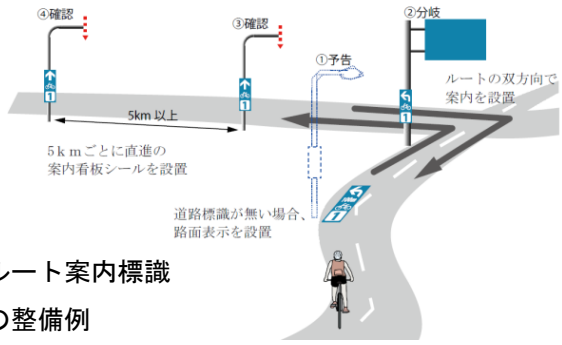
・標識類の整備（英字化・ルート案内等）
・既設の大規模自転車道のリニューアル
・滑りやすい路面、老朽化した路面、支障となる道路横断側溝等の改善

(2) 歩行者・自転車・自動車が輻輳（ふくそう）している、まちなか自転車環境の改善

・カラー舗装、区画線等の整備による自転車通行空間の明確化
・歩道、側溝の改良による自転車空間の拡大

(3) 雪国独特の堆雪幅の活用等による、郊外の自転車環境の改善

・区画線による車道と路肩空間の再配分
・安全確保のための保護路肩除草対策（自走式機械の導入等）



ルート案内標識
の整備例

（出典：北海道開発局・北海道のサイクルツーリズム推進に向けた検討委員会資料）

リニューアル

（出典：和歌山県自転車活用推進計画）

道路保全課
道路ﾒﾝﾃﾅﾝｽ・市町村道担当
TEL：023-630-2608

継　続

街 路 整 備 事 業 費

～　山形広域都市計画道路　旅篭町八日町線（本町工区）　～

暮らしと地域を支え、人と環境を大切にするみちづくり
「中心市街地や都市の拠点機能を高める街路整備」

１　事業概要

都市計画道路旅篭町八日町線は、ＪＲ山形駅周辺の連携を強化する駅環状道路や商業地へのアクセスを支える都心リングとして位置付けられているが、南方面への一方通行となっていることから、道路ネットワークとしての機能が発現されていない状況にある。

また、当該区間は、２次救急医療施設である山形市立病院へ直結する路線となっていることから、山形県地域防災計画において第１次緊急輸送道路に指定されており、防災上も重要な路線である。

このことから、本事業において、４車線化と一方通行規制解除に併せて電線共同溝による無電柱化を行い、災害時における輸送路の確保と、都市防災機能の強化を図る。

令和２年度は引き続き用地補償を行い、事業の早期完成を目指す。

２　事業内容

位　置：山形市本町
県道名：主要地方道　山形朝日線
延　長：Ｌ＝３０６．８ｍ
幅　員：Ｗ＝３０ｍ
車線数：４車線
事業期間：平成２６年度～令和６年度

事業進捗状況（R2.1）北から南を望む

Ｒ２新規予定箇所
本町東大町線（酒田市中町）
村山駅東沢線（村山市楯岡）
羽黒橋加茂線（鶴岡市東原町）
赤湯停車場線（南陽市三間通）

県土整備部都市計画課
（街路・区画整理担当）
電話 023-630-2586

継　続

交通安全道路事業費

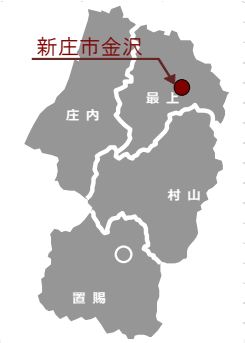
― 人にやさしく安全･安心な道路整備 ―

～ 一般県道曲川新庄線（金沢工区）～

1 事業概要

本区間は、沼田小学校の法指定通学路となっているが、歩道がなく幅員狭小で交通量も多いことから、通学児童が危険にさられている。また、整備区間東側の国道 13 号との交差点は渋滞が発生している状況である。さらに、事業区間北側には新庄病院が移転する予定となっており、さらに交通量の増加が見込まれる箇所である。

このため本事業では、道路を拡幅し歩道を設置することにより、安全・安心な道路空間を確保するものである。



2 事業内容

区　間 ： 新庄市　金沢地内
延　長 ： L＝ 300m
幅　員 ： W＝18.0m

位置図

写真1： 路肩を歩きながら通学する児童

写真2： 歩行者通行状況

写真3 ： 山屋交差点の混雑状況

道路整備課 道路整備・安全対策担当
TEL 023-630-2605

継　続

交通安全道路事業費

― 通学路及び未就学児の移動経路における安全確保 ―

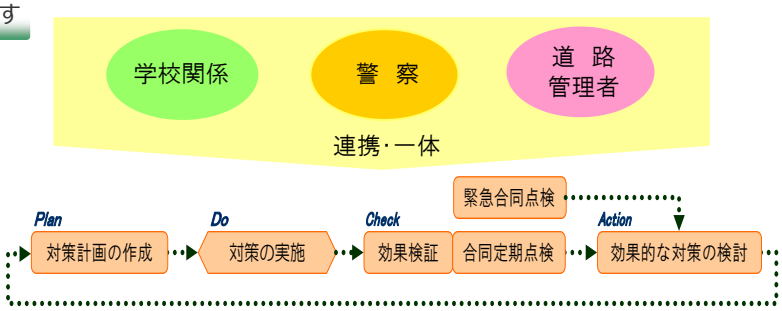
■ 事業概要

H24 年春に発生した児童交通死亡事故を受け、「通学路安全確保対策プログラム（H25 年３月）」を策定し、毎年、継続して点検と対策を実施しており、令和２年度においても、引き続き本プログラムに基づき合同点検及び対策を着実に実施し、通学路の安全確保を図っていく。

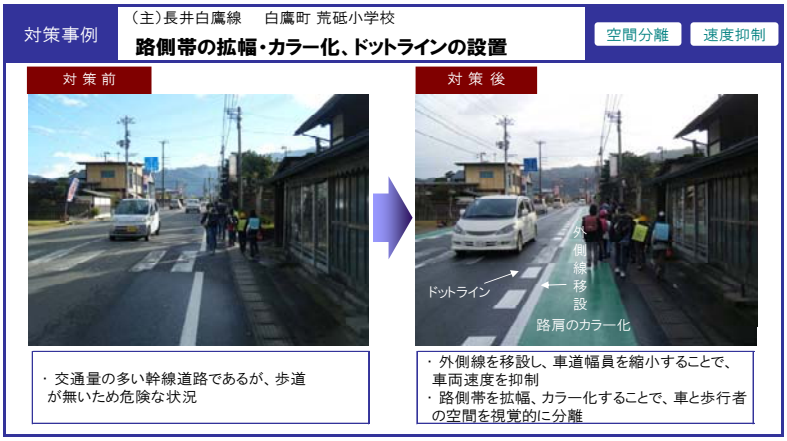
また、令和元年度に実施した、未就学児が日常的に集団で移動する経路等の緊急点検結果に基づき、必要な対策を実施していく。

プログラム概要と取組事例

関係者が連携した取組みを継続していきます



危険な箇所には緊急的な対策を講じていきます



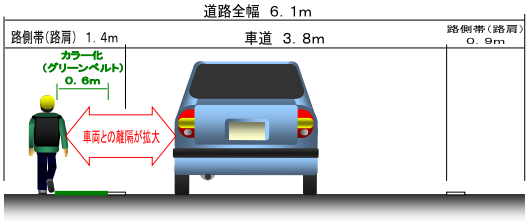
緊急的な対策は効果検証を行い
次の対策に生かしていきます

（一）長瀞野田線の事例

路肩をカラー化し 歩行空間を確保することで、歩行者と車両の離隔が改善されたことが確認できました。

恒久的な対策として歩道整備も推進していきます

通学児童数が多く、危険性の高い箇所においては、歩道の新設や改善を着実に進めていきます。



冬季においても通学児童の安全確保を推進します

冬期の通学路点検

歩道除雪等の徹底

道路整備課 道路整備・安全対策担当
TEL 023-630-2605

継　続

都市公園活用推進事業費

～山形県総合運動公園陸上競技場トラック更新～

誰もが安全で安心して利用できる公園施設の提供（公園施設の長寿命化）
子供の遊び場や防災拠点等、多様なニーズに対応可能な公園施設の整備

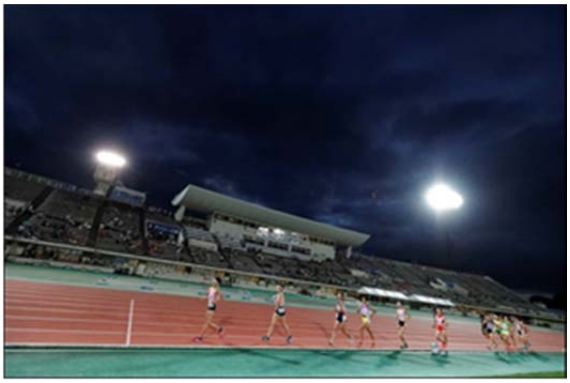
１　事業概要

山形県総合運動公園の陸上競技場は日本陸上競技連盟（JAAF）より第１種公認陸上競技場（メイングラウンド）及び第３種公認陸上競技場（サブグラウンド）として認定を受けている。これにより、全国規模の陸上競技会を開催することができている。

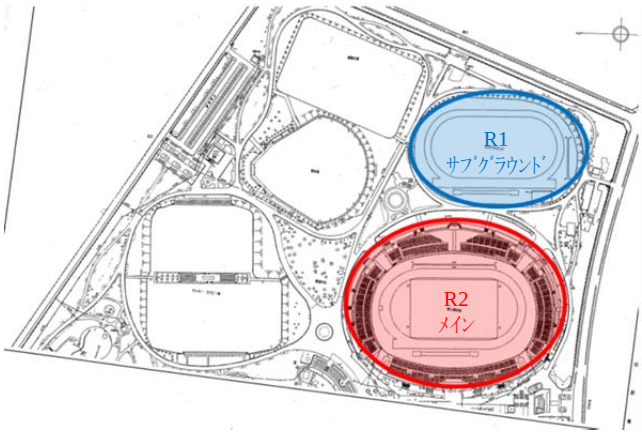
公認を継続するためには令和２年11月までに検定を受ける必要があり、これに必要な施設更新を行うものである。

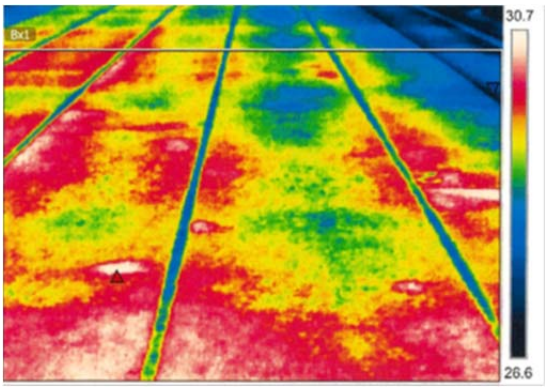
２　事業内容

箇　所　名：山形県総合運動公園陸上競技場
整 備 内 容：トラック表面の全面改修（R2:メイン、R1:サブグラウンド）
事 業 期 間：令和元年度～２年度



インターハイ開催（H29.7）





サーモグラフィによる摩耗診断（温度が高いほど摩耗が激しい）

県土整備部都市計画課
（都市公園担当）
TEL023-630-3130

継　続

河川整備補助事業費（最上小国川かわまちづくり）

１　事業概要

古から築かれてきた最上小国川の清流としての魅力や価値を継承しながら、地域資源に新たな魅力と価値を加え、川とまちとの良好なネットワークを形成し、地域交流の創出を図り、観光交流などの地域活性化を推進する。

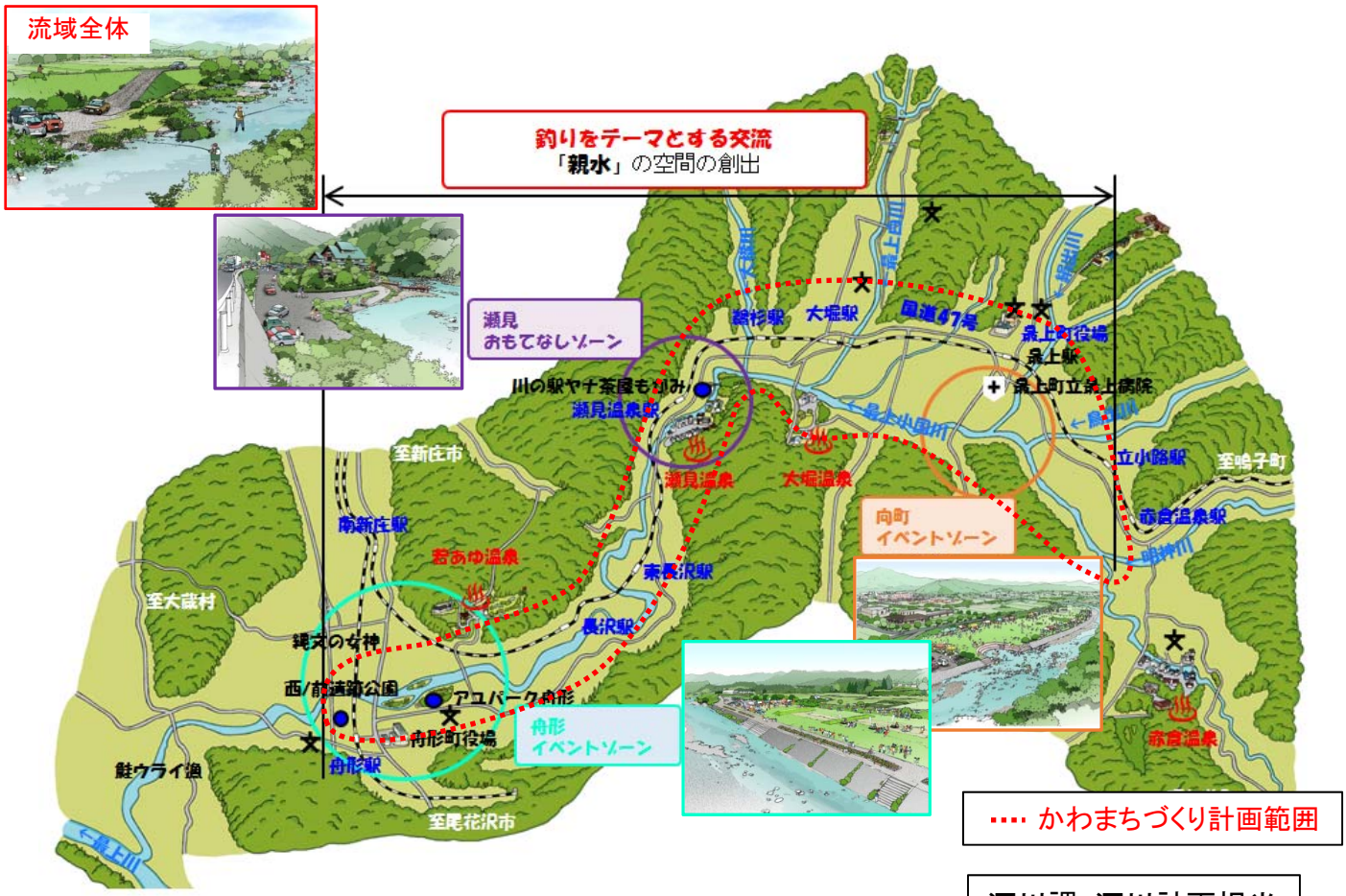
流域全体では「親水」をテーマとし、重点的に活性化を目指す箇所については、「ふれあい」や「憩い」をテーマとしたゾーンを設定し、親水空間の創出を図るとともに、安全・安心な河川整備を実施する。

２　事業内容

◇山形県　　：高水敷整地、親水護岸、坂路（舗装）、管理用通路、
　　スロープ整備、帯工、落差工（魚道含む）、魚道
◇最上町・舟形町：広場整備、植樹（桜）、案内板、遊歩道（路面案内表示）
　　遊歩道（桜づづみ）、サイクリングロード
◇小国川漁協　　：ヤナ管理、稚魚放流、河川清掃

【ハード】
・主に鮎釣り客への利便性や安全性の向上に向けた整備の実施（流域全体）
・ゾーニングされたエリアにおける整備の実施（向町、瀬見、舟形）

【ソフト】
・西ノ前遺跡公園、瀬見温泉といった魅力ある資源を活用するとともに、ヤナ茶屋もがみ、小国川漁協などとの連携による「かわ」を起点とした「まちづくり」を進めていく。



河川課　河川計画担当
TEL　023-630-2619